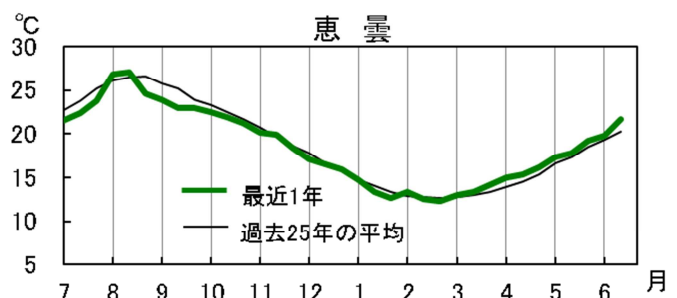
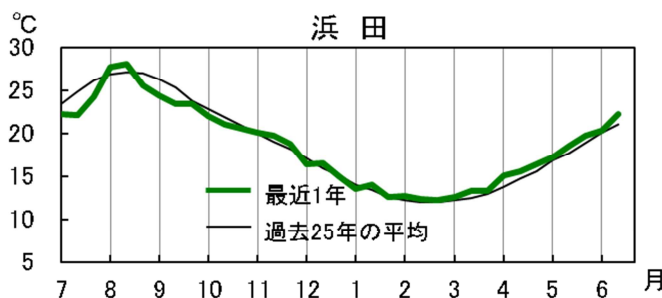




《5～6月の海況》

5月	月平均	平年差	評価
浜田	18.6℃	+0.6℃	やや高め
恵曇	18.1℃	+0.6℃	やや高め

沿岸定地水温は、浜田地区では5月は、上旬は「平年並み」、中・下旬は「やや高め」となり、6月に入り上旬時点で「平年並み」で経過しています。恵曇地区では5月は、上旬は「やや高め」、中旬は「平年並み」、下旬は「やや高め」と変動し、6月に入り上旬時点で「平年並み」で経過しています。



《5月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は13.5トンで平年を上回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、マアジは256トンで漁獲割合の約7割を占め、平年の1.5倍となりました。また、サバ類は79トンで平年の約3倍となりました。隠岐地区ではマイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は78.8トンで平年を上回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、マイワシは8,324トンで漁獲割合の約9割を占め、平年の2.1倍となりました。また、マイワシの漁獲は5月の後半に集中しました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ（全体の56%）とスルメイカ（全体の46%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は74kgで平年を下回りました。一方、西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の100%）のみが漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は126kgで平年を上回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではカワハギ類、ムシガレイ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は13.1トンで平年を上回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、カワハギ類は70トンで平年の20倍、ムシガレイは46トンで平年並み、キダイが25トンで平年の1.5倍、アンコウは19トンで平年並み、スルメイカは19トンで平年の7割、ソウハチは17トンで平年の1.3倍、アカムツは16トンで平年の1.9倍、アナゴ・ハモ類は14トンで平年の5割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではこの時期主力のソウハチが不漁だったため、1統1航海当りの漁獲量は607kgと平年を下回る水揚げとなりました。魚種別の動向（総漁獲量）は、ソウハチが平年の4割、ニギスは平年の8割、アナゴ・ハモ類は平年の1.1倍でした。その他、アンコウは平年の9割、アカムツは平年の1.8倍、ヤナギムシガレイは平年の1.4倍の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではマアジ、ブリ、ホソトビウオ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は20.8トンで平年を下回る水揚げとなりました。魚種別の動向（総漁獲量）は、マアジは平年並み、ブリは平年の4割でしたが、ホソトビウオが平年の2.7倍でした。石見地区ではマアジ、ケンサキイカ、その他魚類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は18.4トンで平年並みの水揚げとなりました。魚種別の動向（総漁獲量）は、マアジが平年の1.6倍、ケンサキイカが平年の2倍でした。また、その他魚類は12.1トンの内マルアジが10.8トンを占めていました。隠岐地区ではブリ、マアジ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は33.7トンで平年を下回る水揚げとなりました。魚種別の動向（総漁獲量）は、ブリが平年並み、マアジが平年の6割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ、ケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は30kgで平年並みでした。石見地区ではケンサキイカ、ブリ、ヒラマサが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は19kgで平年並みでした。隠岐地区ではカサゴ・メバル類、ブリが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は23kgで平年を上回りました。

【平成 28 年 5 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	352 トン	165%	168%	13.5 トン	184%	164%	◎
	隠岐	マイワシ	9,687 トン	140%	134%	78.8 トン	165%	141%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ、ケンサキイカ	3.2 トン	82%	100%	74kg	25%	44%	▲
	西郷	スルメイカ	9.6 トン	34%	71%	126kg	108%	138%	◎
沖合 底びき網	浜田	カワハギ類、ムシガレイ	328 トン	159%	115%	13.1 トン	134%	110%	◎
小型底曳網	大田	ソウハチ、ニギス、アナゴ	310 トン	104%	70%	607kg	96%	76%	▲
定置網 (大型)	出雲	ブリ、マアジ、ホソビウオ	271 トン	86%	79%	20.8 トン	86%	80%	▲
	石見	マアジ、ケンサキイカ、その他の魚類	97 トン	93%	131%	18.4 トン	74%	104%	○
	隠岐	ブリ、マアジ	101 トン	58%	68%	33.7 トン	58%	68%	▲
釣り・縄	出雲	ブリ、ケンサキイカ	76 トン	75%	96%	30kg	85%	95%	○
	石見	ケンサキイカ、ブリ、ヒラマサ	50 トン	106%	96%	19kg	101%	88%	○
	隠岐	カサゴ・メバル類、ブリ	31 トン	92%	123%	23kg	94%	122%	◎

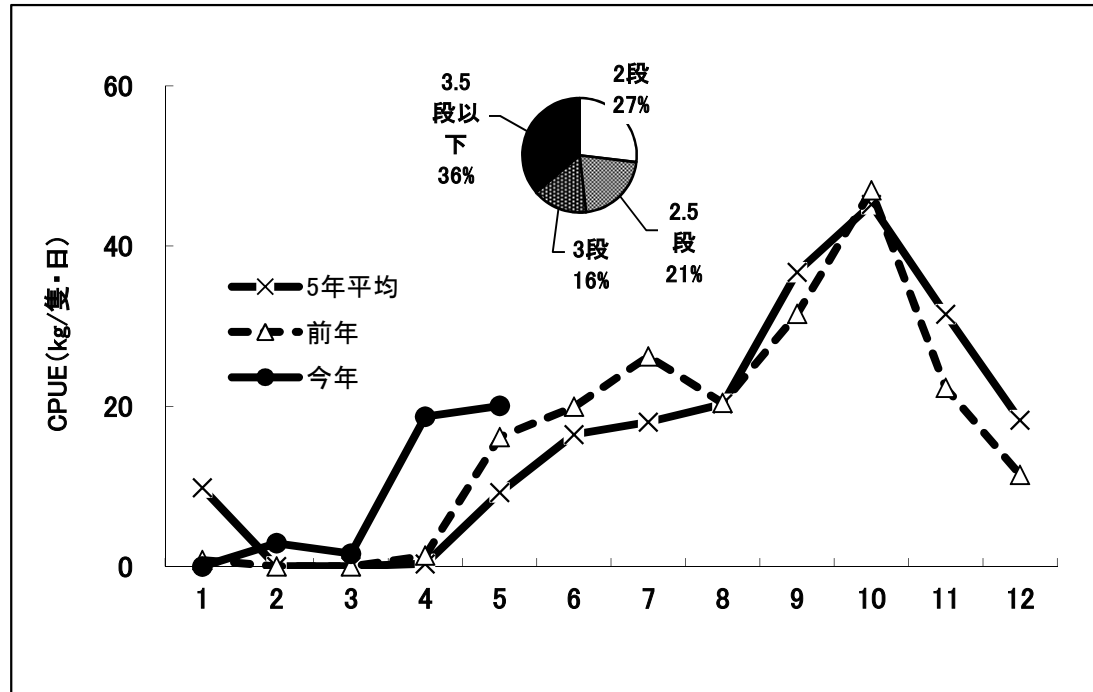
平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。

【ケンサキイカ情報】

今月号は島根県のみケンサキイカ（地方名：マイカ、シロイカ）情報を掲載いたします。

I：5月のイカ釣り漁況 主要漁港データを利用しています。折れ線グラフはCPUE、円グラフは銘柄割合を示しています。



主要7港のケンサキイカの水揚げ量は17,567kgでした（前年比558%、平年比848%）。

II：5月上旬の底層水温

島根県沖の陸棚上の底層水温は、水深80～150mが8.5～17.8℃、それ以深が2.1～4.0℃でした。